

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01		
施設名	清掃リサイクル事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	昭和45年7月(旧館)	219,907	国・都	区債
	増改築①	昭和61年3月(新館)	-		一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年7月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年7月		職員数	74人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	新館:地上3階 旧館:地上4階	
面積	敷地面積			1,855 m ²	
	延床面積			新館:735.85m ² 旧館:1082.75m ²	
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬等の作業 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬等の作業、清掃車両駐車スペース、清掃リサイクル業務従事職員の執務室・来庁者対応窓口等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等	作業(開所)日数(日)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	電気使用量(kwh)	311	310	310	310	310
	ガス使用量(m3)	87,541	83,746	82,842	83,787	-
	水道使用量(m3)	28,988	32,576	32,202	33,858	-
		6,455	6,172	5,991	5,883	-
に指定管理に係る費用等						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

III 財務諸表

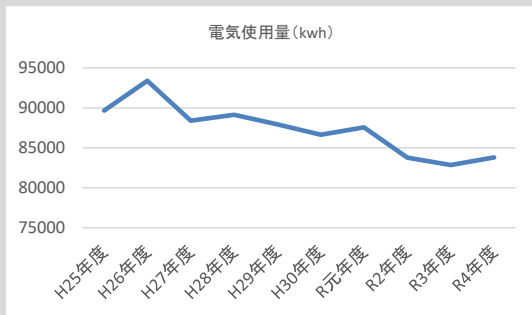
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	578,578	560,775	▲17,803	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	22,126	24,260	2,134	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	1,102	3,068	1,966	都支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	155	158	3	155	158	3	
	減価償却費	3,760	3,967	207	その他	110	144	34	110	144	34	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	265	302	37	265	302	37	
	賞与・退職給与引当金繰入額	116,855	28,381	▲88,474	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲722,156	▲620,149	102,007	▲722,156	▲620,149	102,007	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	722,421	620,451	▲101,970	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲722,156	▲620,149	102,007	▲722,156	▲620,149	102,007	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲722,156	▲620,149	102,007	▲722,156	▲620,149	102,007		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	32,023	28,054	▲3,969	32,023	28,054	▲3,969
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0
	有形固定資産	374,760	401,503	26,743	賞与引当金	32,023	28,054	▲3,969	32,023	28,054	▲3,969	
	土地	326,611	326,611	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0	
	建物	248,093	278,181	30,088	固定負債	679,956	573,446	▲106,510	679,956	573,446	▲106,510	
	建物減価償却累計額	▲199,944	▲203,289	▲3,345	特別区債	0	0	0	0	0	0	
	工作物等	3,749	3,749	0	退職給与引当金	679,956	573,446	▲106,510	679,956	573,446	▲106,510	
	工作物等減価償却累計額	▲3,749	▲3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	711,979	601,500	▲110,479	711,979	601,500	▲110,479	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲335,871	▲199,270	136,601	▲335,871	▲199,270	136,601	
	その他の固定資産	1,348	727	▲621	正味財産の部合計	▲335,871	▲199,270	136,601	▲335,871	▲199,270	136,601	
資産の部合計	376,108	402,230	26,122	負債及び正味財産の部合計	376,108	402,230	26,122	376,108	402,230	26,122		
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話等の使用料で、「その他」は自動販売機等の電気等使用料である。建物資産の増は給排水設備改修工事によるものである。「その他の固定資産」は重要物品(清掃車両等)の減価償却後の現在価格である。											

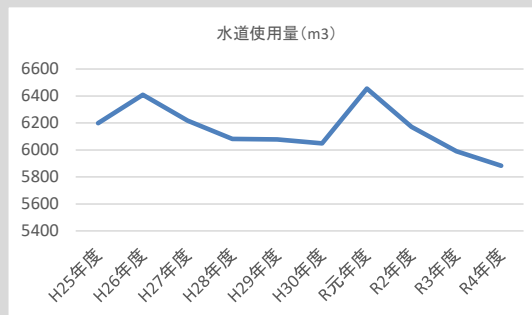
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	76.0	82	80.9	73.4	-
	1㎡あたりコスト(円)	381,895	403,389	397,240	341,170	-
備考	コスト(行政費用)について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○他の公共施設に比べ経過年数の長い施設であり、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。</p> <p>○廃棄物収集・運搬に係る区職員の減少に伴い、代替となる雇上会社清掃車両等の駐車スペースが、将来的に不足する可能性がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。</p> <p>○南千住清掃車庫の有効活用を図り、清掃車両等の待機スペースの確保に努めていく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量は横ばいである。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-02			
施設名	南千住清掃車庫					
所在地	南千住四丁目1番8号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成12年2月	380,197	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成12年2月		区職員	その他		
供用開始年月日	平成12年4月		職員数	10人		
構造	鉄骨造		階層	管理棟:地上3階 洗車棟:平屋		
面積	敷地面積			1,900㎡		
	延床面積		管理棟:994.80㎡	洗車棟:123.52㎡		
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両の駐車・点検整備等 ※清掃事業の区移管(平成12年4月)					
関連部署	環境課					
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況	有	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	○スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から	まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬に使用する清掃車両駐車スペース、清掃車両の点検整備・洗車業務、運転業務等従事職員の執務室等					
対象者	清掃リサイクル推進課職員、区民・事業者					
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分				
	休日	日曜日、年末年始の指定日				
施設基本データ等	作業(開所)日数(日)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	電気使用量(kwh)	311	310	310	310	310
	ガス使用量(m3)	89,931	97,630	95,961	93,809	—
	水道使用量(m3)	8,001	7,356	7,118	6,902	—
		2,124	1,969	1,943	1,902	—
に指定管理 に係る費用						
備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					

III 財務諸表

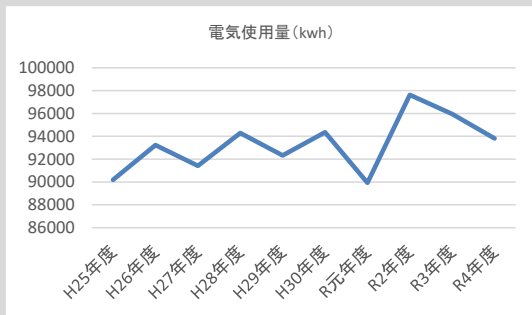
(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	60,057	61,259	1,202	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	7,649	8,952	1,303	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	496	837	341	都支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	64	75	11	64	75	11	
	減価償却費	15,509	13,072	▲ 2,437	その他	90	88	▲ 2	90	88	▲ 2	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	154	163	9	154	163	9	
	賞与・退職給与引当金繰入額	12,130	3,100	▲ 9,030	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	95,841	87,220	▲ 8,621	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630	▲ 95,687	▲ 87,057	8,630		
貸借対照表	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,288	3,065	▲ 223	3,288	3,065	▲ 223
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	852,976	860,248	7,272	賞与引当金	3,288	3,065	▲ 223	3,288	3,065	▲ 223
		土地	733,400	733,400	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0	0
		建物	396,125	416,469	20,344	固定負債	69,954	62,643	▲ 7,311	69,954	62,643	▲ 7,311
		建物減価償却累計額	▲ 276,548	▲ 289,620	▲ 13,072	特別区債	0	0	0	0	0	0
		工作物等	64,856	64,856	0	退職給与引当金	69,954	62,643	▲ 7,311	69,954	62,643	▲ 7,311
		工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	73,242	65,708	▲ 7,534	73,242	65,708	▲ 7,534	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	779,734	794,540	14,806	779,734	794,540	14,806	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	779,734	794,540	14,806	779,734	794,540	14,806		
資産の部合計	852,976	860,248	7,272	負債及び正味財産の部合計	852,976	860,248	7,272	852,976	860,248	7,272		
備考	「物件費」は施設の管理運営、「維持補修費」は施設の修繕等に係る経費である。行政収入の「使用料及び手数料」は敷地内へのマンホール・電柱の占用に係る使用料で、「その他」は自動販売機・コミュニティバス乗務員控室の電気等使用料である。建物資産の増は空調設備改修工事によるものである。											

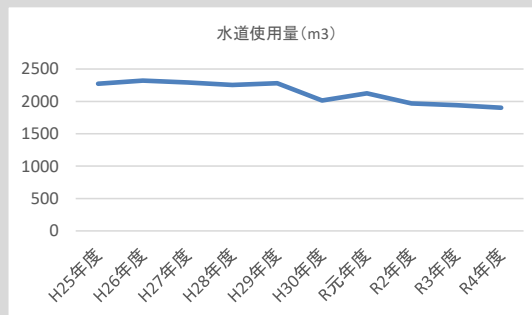
指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	65	65	74.1	73.6	-
	1㎡あたりコスト(円)	93,879	85,123	85,701	77,992	-
備考	コスト(行政費用)について大きな変動はないが、減価償却率は改修工事等により変動する。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地元町会への施設開放等					
現状・課題	○竣工から約20年が経過し、引き続き大規模改修を計画的に実施するとともに、予防保全の観点から不具合が発生しないよう、修繕等を計画的に実施する必要がある。 ○保有清掃車両台数及び職員数の減少に伴い、施設のさらなる有効活用を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づく計画的な大規模改修を実施するとともに、施設・設備の保守点検等の維持管理を適切に実施するほか、修繕等により機能保全を継続する。 ○感染防止対策・熱中症対策を目的とした雇上会社清掃車両等の待機場所としての活用を継続し、今後、リサイクル関連物品の保管スペースや将来的な清掃リサイクル事務所における駐車スペース不足への対応等、さらなる有効活用を検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



電気使用量はほぼ横ばいである。



水道使用量はほぼ横ばいである。

令和5年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03			
施設名	あらかわりサイクルセンター					
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成28年	862,058	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成28年9月16日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成28年10月10日		職員数	5		
構造	鉄骨造		階層	2階		
面積	敷地面積			1,999 m ²		
	延床面積			1,578 m ²		
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項					
駐車場の状況	2	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ		
駐輪場の状況	20	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	(1)区内から回収した資源(びん、缶、トレイ、ペットボトル)の中間処理 (2)区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3)リサイクル資源を使った工房・教室の実施					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分				
	休日	日曜日、年末年始				
施設基本データ等	開館日数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(見込み)
	来場者数(団体見学、工房等)	310	310	310	310	310
	工房・教室回数	2,860	212	2,244	2,130	2,500
	工房・教室参加者数	68	39	61	74	79
	工房・教室参加率(%)	351	127	239	364	400
	施設見学実施小学校数	60	85	88	74	75
	資源中間処理量(t)	24	0	24	24	24
		2,710	2,949	2,947	2,853	3,044
備考	平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。(令和2年度は感染症拡大防止のため中止) 令和2～4年度の工房・教室は実施規模(回数、定員)を縮小して実施。 資源中間処理量は令和元年度まで微増、令和2年度は増加幅が大きく、その後は同程度の状態が続いている。					

III 財務諸表

(単位:千円)

	勘定科目			R3年度	R4年度	差額	勘定科目			R3年度	R4年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	25,243	25,338	95	地方税等	0	0	0	0	0	0	
	物件費	33,345	28,518	▲ 4,827	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	維持補修費	409	367	▲ 42	都支支出金	0	0	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	
	補助費等	103	0	▲ 103	使用料及び手数料	697	675	▲ 22	0	0	0	
	減価償却費	36,468	36,468	0	その他	62	85	▲ 23	0	0	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	759	760	1	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,098	1,282	▲ 3,816	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 99,907	▲ 91,213	8,694	0	0	0	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 376	▲ 340	36	0	0	0	
	行政費用合計(b)	100,666	91,973	▲ 8,693	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 100,283	▲ 91,553	8,730	0	0	0	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 100,283	▲ 91,553	8,730	0	0	0		
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R3年度	R4年度	差額	勘定科目	R3年度	R4年度	差額			
	収入未済	0	0	0	流動負債	37,603	37,525	▲ 78				
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0				
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	36,221	36,257	36				
	有形固定資産	652,089	615,622	▲ 36,467	賞与引当金	1,382	1,268	▲ 114				
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0				
	建物	767,791	767,791	0	固定負債	342,429	302,679	▲ 39,750				
	建物減価償却累計額	▲ 172,510	▲ 207,012	▲ 34,502	特別区債	313,026	276,769	▲ 36,257				
	工作物等	66,636	66,636	0	退職給与引当金	29,403	25,910	▲ 3,493				
	工作物等減価償却累計額	▲ 9,828	▲ 11,793	▲ 1,965	その他の固定負債	0	0	0				
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	380,032	340,204	▲ 39,828					
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	272,057	275,418	3,361					
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	272,057	275,418	3,361					
資産の部合計	652,089	615,622	▲ 36,467	負債及び正味財産の部合計	652,089	615,622	▲ 36,467					
備考	物件費の主な支出は、光熱水費、施設の維持管理に係る保守委託料、土地賃借料である。行政収入の「使用料及び手数料」は、施設運営の委託業者からの目的外使用料であり、「その他」は同委託業者からの目的外使用に伴う光熱水費受入である。											

指標		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	13	18	21.9	26.2	
	1㎡当たりコスト(円)	56,631	58,542	63,801	58,292	
	人にかかるコストの割合(%)	32	33	30.1	28.9	
備考	1㎡当たりのコスト及び人にかかるコストの割合は横ばい状態で推移している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)					
目標指標	指標名・単位	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込み)
	団体来場者数	3,000 実績値	500 22	1,600 1,947	2,100 1,693	2,100
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他()					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	区内におけるリサイクルの啓発活動の拠点となることが求められている。					
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、夏休み等の時期に子ども向け工房を実施し、好評を得ている。令和2～4年度は感染症拡大防止のため定員を縮小するなどして実施した。今後は感染症の状況を注視しながら従前の定員に戻していくなど参加者増を図っている。</p> <p>○来場者は、南千住地域からの割合が多いため、区内の各地域からの来場者拡充を図る工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、施設を安定的に稼働することが必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会 「普及啓発の拠点としての活用」					